

## 小児科

寺田志津子

小児科では、以下の疾患に重点的に取り組んでいる。

**新生児医療**：合併症をもつ母親から出生した新生児、健康新生児ならびに病的新生児、後期早産児、HIV 母子感染予防。

**高度小児専門医療**：骨系統疾患、発育・発達障害、血液、がん、消化器、内分泌、リウマチ疾患、アレルギー、神経、児童虐待、感染症（HIV 感染症を含む）。

**成人化した小児難病治療**：小児難病患者の内科専門外来への円滑なバトンタッチ。

臨床研究として、日本小児白血病リンパ腫研究グループ（JPLSG）の参加施設として白血病・悪性リンパ腫の、主に長期フォローアップの研究に参加している。また、HIV 感染妊婦の全国疫学調査研究事業に参加している。

### 【2016年度 研究発表業績】

#### B-4

野間治義、松村梨紗、久田原郁夫、安部晴彦、大杉夕子：化学療法終了早期に薬剤性心筋症を呈した未分化肉腫の一例。第 58 回日本小児血液・がん学会学術集会、東京、2016 年 12 月 17 日

松村梨紗、山本翔大、野間治義、楠木重範、沖田典子、埜中正弘、多和昭雄、大杉夕子：当院での頭蓋内胚細胞腫 7 例の治療経験。第 58 回日本小児血液・がん学会学術集会、東京、2016 年 12 月 16 日

#### B-6

松村梨紗、山本翔大、野間治義、楠木重範、沖田典子、埜中正博、多和昭雄、大杉夕子：当院での頭蓋内胚細胞腫 7 例の治療経験。第 15 回小児脳腫瘍治療研究会、大阪、2016 年 7 月 2 日